



FS 調査報告会・技術セミナー（ダナン市）

本社：〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL (0748) 32-5111 (代) FAX (0748) 32-3339 / 東京支店：〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL (03) 5772-6073 (代)

アジア・太平洋の水環境改善に向けた多様な取り組みを実施



ベトナム

アジア・太平洋地域における水質改善に向けた国際間協力は、日本の義務であり私たちの使命でもあります。日吉では、ベトナムで開催されたプロジェクトに弊社スタッフを派遣しました。

環境省アジア水環境改善モデル事業、第2回調査へ（ダナン市）

2014.12.10～2014.12.20

IET ダナン（環境技術研究所）と協力し、水産加工工場3社の工場内での水利用状況や排水処理施設に流れ込む水量・水質の調査を行いました。

今回の調査は、同年9月に行った10社への調査結果をもとに選定した実証試験対象候補3社の排水状況をさらに詳しく調べることが目的でした。今回得た結果を踏まえて、試験地の選定や試験内容のアレンジを行います。



現地との綿密な交流を通じ、課題の解決を目指す



環境省アジア水環境改善モデル事業 FS 調査報告会・技術セミナー（ダナン市） 2014.3.13

現地行政や水産加工工場を対象に、平成26年度に行ったFS調査結果の報告会、ならびに次年度に試験的に導入する「クラゲール」や排水処理施設管理の技術セミナーを開催しました。調査結果と考察に基づく導入時のコスト試算や効果事例を示し、その有用性と継続的な協力をアピールしました。

※PVAゲルによる排水処理：微生物の働きで産業排水や生活排水を浄化しし自然に戻す技術



JICA 草の根 キックオフ&ヒアリング（ハイフォン市カットバ島）

2015.3.16～2015.3.22

滋賀県の産官共同で申請し平成26年度8月に採択されたJICA草の根事業「観光島カットバの水環境改善に向けた協働体制づくりの協力支援」がキックオフし、現地のグリーン成長に向けた活動がいよいよスタートしました。また、現地行政や事業所などへのヒアリングも行い、カットバ島の環境問題について情報収集をしました。今後はこの調査結果をもとに、2年にわたって本事業の目的達成に向けた活動が展開されます。 ※JICA：独立行政法人・国際協力機構

アジア・太平洋諸国で求められる日吉の技術



タイ



残留性有機汚染物質（POPs）管理のためのバイオアッセイに関するセミナー開催（バンコク）

2014.4.21～2014.4.25

タイ国内におけるダイオキシン等 POPs に対する認識を高め、その実態とリスク、そして生物検定法による効果的な対策について広く周知するため、日吉・京都大学・KMUTT 大学（タイ）により共同開催されました。



インド

インド AP 州首相とのランチミーティングに参加 2014.11.26

州都づくりへの投資を求めるために来日した AP 州首相、チャンドラバブ氏に日吉のビジネスや社会活動について伝え、同州における事業の可能性を話し合いました。

※AP 州：アンドラ・プラデシュ州



スピーチコンテストで優勝したカップルが来社

日吉では 1995

年からインドでス

ピーチコンテスト

を共同企画。

2012 年、13 年の日本語優勝者であるベルムルガンさんとモニカさんが、スピーチをきっかけに幸せな結婚をされ、弊社を訪問してくれました。



中国



「日中省エネ環境フォーラム」プロジェクト調印式へ参加（北京）

2014.12.28

日中両国合わせて500名を超える官民関係者が参加しました。中国広東省にある2社と「佛山市におけるダイオキシン類生物検定プロジェクト」の調印文書を交換しました。

10. *Journal of the American Medical Association*, 2000; 283: 2686-2692.